

《安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン》対応

# SE函渠CR

[サイクリングロード]



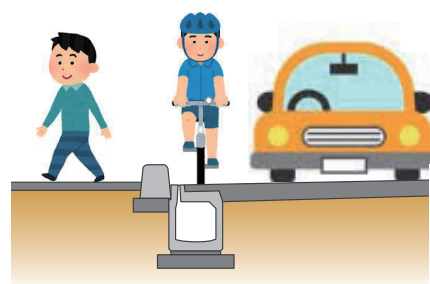
→ 頂版露出幅: 10cm

従来型



函渠頂版(6%)部の走行は不安定

自転車対応型



函渠頂版の露出幅が狭く安全に走行

1. エプロン部を舗装で覆うことにより従来の函渠型側溝に比べ函渠頂版の露出が小さくなり、広く安全な自転車通行幅を確保できます。
2. エプロン部を覆う舗装勾配 (1.5~2.0%) に対応できるように頂版勾配は1.5%となっています。
3. 雨水及び表面水は函渠頂版の露出部のセパレートスリット(3ヶ所)及びRGタイプ(集水用)より集水します。また、排水性舗装にも舗装で覆った函渠頂版の開孔(4ヶ所)より浸透水を排水します。
4. 頂版を覆うアスファルト舗装のひび割れ、沈下防止に函渠頂版を斜めに面取りを施しています。
5. 本体に縁石設置用の切欠きを設けているため、縁石の沈下防止、更に防草効果にも期待できます。

